



議会だより

あさぎり

No.37
H 25.5.2 発行

あさぎり町議会 [検索](#)

3 月
定例会

一般会計当初予算

原案通り可決 2～7P

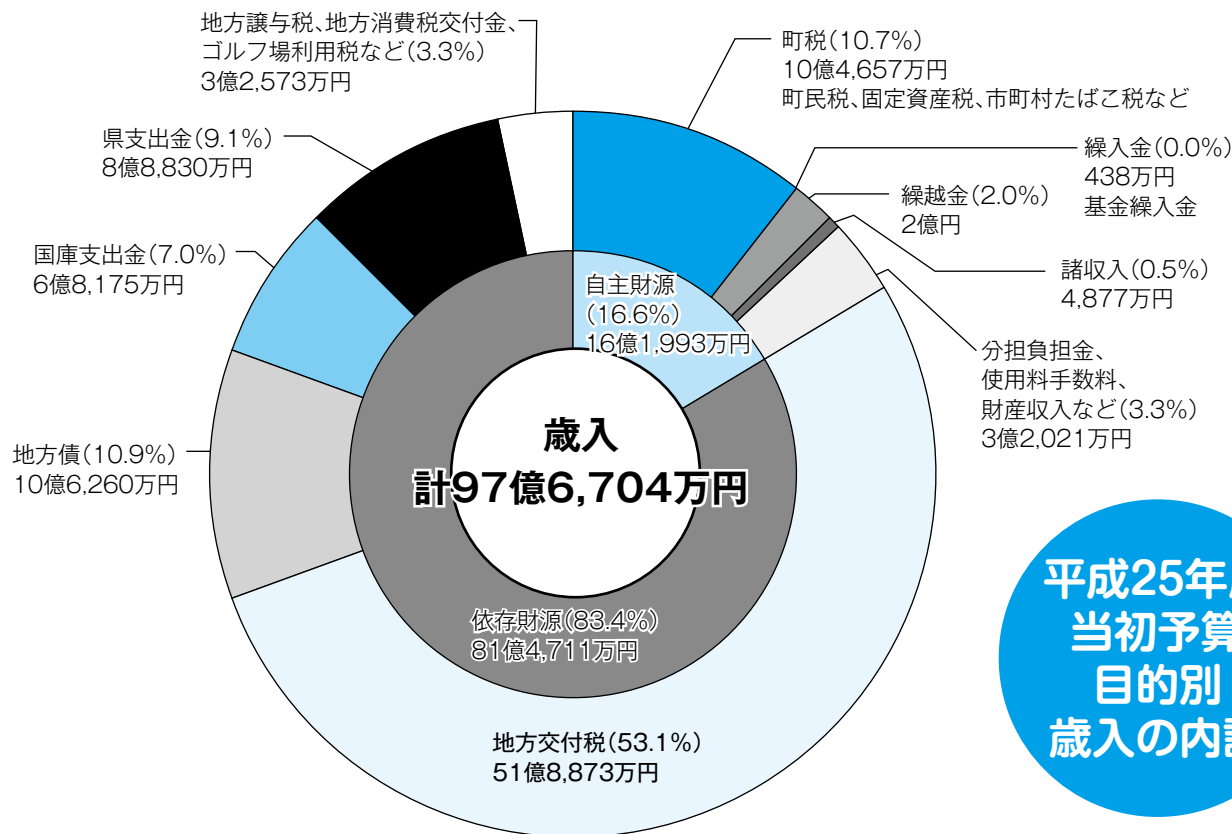
一般質問に11人が登壇 8～13P



あさぎり中学校第一回卒業証書授与式
171名が巣立つ

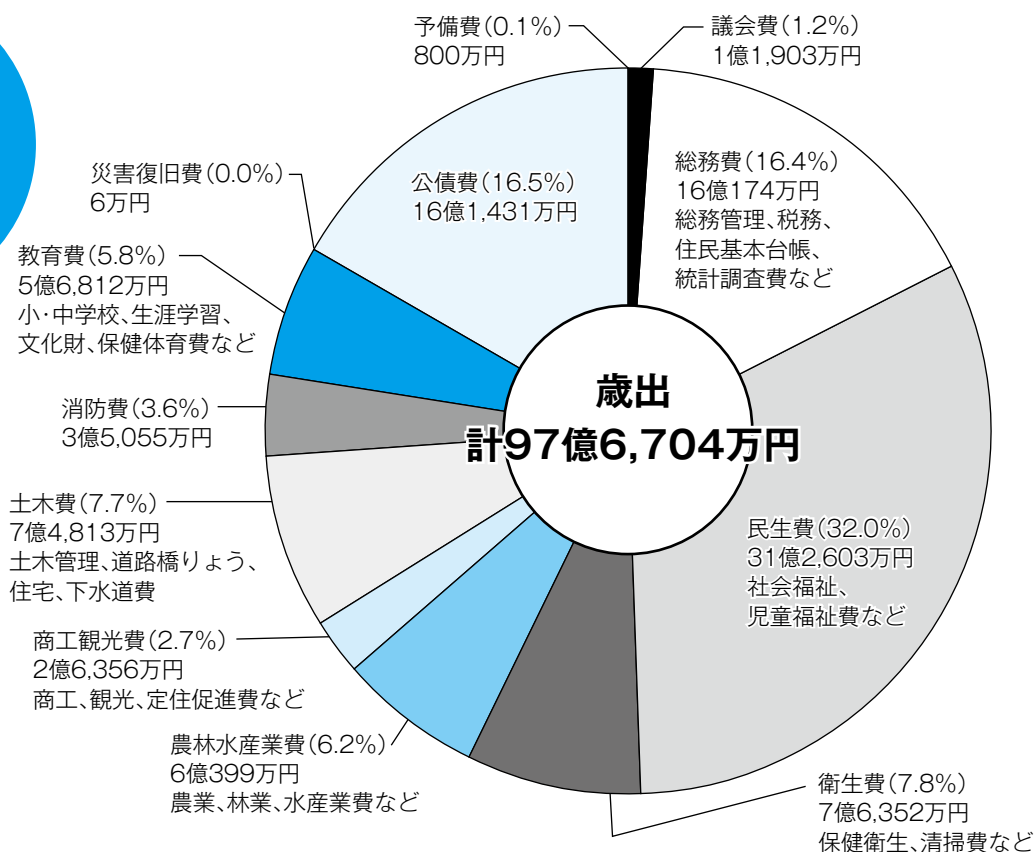
4万3千円

平成25年度第1回定例会が3月5日より11日間の日程で開催されました。条例改正、平成24年度一般会計及び特別会計補正予算、平成25年度一般会計及び特別会計当初予算が審議され、原案可決されました。また、一般質問には11人が登壇し町政を質しました。



平成25年度
当初予算
目的別
歳入の内訳

平成25年度
当初予算
目的別
歳出の内訳





平成25年度 一般会計 当初予算

97億6,700万円

○特別会計の当初予算額（歳入・歳出）

国民健康保険特別会計	22億1142万円	下水道事業特別会計	9億2910万円
後期高齢者医療特別会計	1億7280万円	上財産区特別会計	3821万円
介護保険特別会計	16億9055万円	球磨郡障害認定審査事業特別会計	1015万円
介護サービス特別会計	4461万円	球磨郡介護認定審査事業特別会計	3707万円
簡易水道事業特別会計	5億2988万円		
水道事業特別会計	8942万円		

※水道会計は収益的支出と資本的支出の合計

一般会計予算への質疑（抜粋）

総務文教常任委員会所管課分 （総務課・会計課・企画財政課・教育委員会）

答

年報酬はない。出勤時に費用弁償の支払いをする。

酬はどうなるのか。

問

今年度発足する計画の機能別消防団（災害時のみ出動する消防組織、消防団OB等で構成）の報酬はどうか。

却等処分をしていく方向で考えている。

答

普通財産（売却または貸付をすれば財政のプラスになると考えられる物件）は売却の方向で進めていきたい。貸付契約が切れるところについては売却等処分をしていく方向で考えている。

問

遊休財産、特に現在貸付してある土地の売却は積極的に進めるべきではないのか。

事業に対応できるようにする。

早期時期に策定し、少しでも有利な国の補助

に基づく改修または建て替え計画をなるべく

断をして、それ

は。一、三、八、七、万、円、の、仕、様、は、

計画策定委託料

学校改修基本

直すのかも含めて慎重に検討し運用していきたい。

まずは二十年物を担保として、四十年物はどうか、

二十年・四十年の長期国債は運用上危険ではないのか。

利子および配当金は国債で運用されているが、



築約40年の免田小学校

答

文化協会主催の芸術祭と併せて出演機会を設けたい。予定として十八団体に、予算は文化協会の補助金との考えもあったのだが合併十周年記念事業費に計上している。これからも発表の機会を考えながら伝統芸能継承に努める。

問

合併十周年に併せて郷土芸能祭の計画の説明があったが、予算計上はどこに、またその保存継承についての考えは。

答

カーブミラー等の安全施設の整備等、各区長を通じて要望書の提出をお願いして、区長共々現地調査した上で公平に優先順位を決定している。

問

交通安全対策費の工事請負費三百五十万円は、各地区からの要望があつての事だと思いが、その優先順位は。

答

組織の育成としては、二十五年度は岡原と免田地区で防災訓練を実施の予定。今後はできるだけ自主性を生かした訓練をお願いしたい。

問

対象資機材は、情報用具としてメガホン・ラジオ・トランシーバー等、消火用具として消火器・バケツ・ホース、他に運搬用具、照明用具、救急用具

答

自主防災組織の資機材の整備助成金の対象はどのような資機材か。また今後組織の育成の方策は。

問

自主防災組織の資機材の整備助成金の対象はどのような資機材か。また今後組織の育成の方策は。

答

対象資機材は、情報用具としてメガホン・ラジオ・トランシーバー等、消火用具として消火器・バケツ・ホース、他に運搬用具、照明用具、救急用具

問

組織の育成としては、二十五年度は岡原と免田地区で防災訓練を実施の予定。今後はできるだけ自主性を生かした訓練をお願いしたい。

答

対象資機材は、情報用具としてメガホン・ラジオ・トランシーバー等、消火用具として消火器・バケツ・ホース、他に運搬用具、照明用具、救急用具

問

組織の育成としては、二十五年度は岡原と免田地区で防災訓練を実施の予定。今後はできるだけ自主性を生かした訓練をお願いしたい。

答

対象資機材は、情報用具としてメガホン・ラジオ・トランシーバー等、消火用具として消火器・バケツ・ホース、他に運搬用具、照明用具、救急用具

問

組織の育成としては、二十五年度は岡原と免田地区で防災訓練を実施の予定。今後はできるだけ自主性を生かした訓練をお願いしたい。

答

対象資機材は、情報用具としてメガホン・ラジオ・トランシーバー等、消火用具として消火器・バケツ・ホース、他に運搬用具、照明用具、救急用具



防災訓練(覚井地区)

厚生常任委員会所管課分

(税務課・町民課・福祉課・保健環境課)

問 認知症対策GPSの加入者数と内容は。

答 三台予算計上しているが、加入者は無し。徘徊行動が不明となった場合、早期発見・事故防止の環境を整えていく。

問 健康ポイント報償費の二十五万円の内容は。

答 健康診査やがん検診他の受診率の向上を目的として、特定健診や健康教室を受けたら一ポイントとか規定をして、十ポイントであさぎりスタンプ会商品券の五百円券と引き換える事を考えている。

問 生ごみ収集に新たに取組む免田の残りの地区と須恵地区は、昨年の実績を踏まえた上でもっと早く取り組むべきではないか。

答 二十四年度に実施した地区のアンケート調査をして現況を検証した上で、今年度なるべく早急に実施したい。

問 昨年より取り組んでいる生ごみ処理で、生ごみ処理委託料に二百六十八万円があるが、

処理後の堆肥の製品を販売するのだから、処理料はもっと安くできるのではないか。

答 生ごみ収集後、異物除去等の作業も委託業者にお願しているが、そこまでは町の負担という契約をしている(多良木町も同じ)。二十五年度から対象地区も拡大をして、作業の効率化も図られてくるので企業側と経費節減に努めていく。

問 町立保育所を社協に委託するとの事だが、現在の社協の職員体制でやっていけるのか。

答 現在、保育所職員の今後の勤務形態・給与形態等、担当課と社協とでルール作りをやっている。社協の職員は増やさないので基本本だが、今後

町立保育所の様子



町立保育所の様子



あさぎり町有機センター

の半年間で移行の整備を進めていく中で検討する。

問 町とJAで共同開発した墓地区公園(花牟礼霊園)の一区画の永代使用料が二十五万円、他に管理料が年六千円は高額すぎるのではないか。

答 霊園の三三三三区画の内二五三三区画が残っている状況では残りの区画を維持するのに難しい状況にある。今後、永代使用料を頂く区画が増えると管理費も軽減できると期待している。

問 歳入で七千六百三十八万円の市町村たばこ税が計上してあるが、税の収納上、たばこの販売所は町内にあるがその本社の所在地がよそにある場合、税収はどこに入るのか。

答 一箱(例四百十円)あたり約百五十円が市町村たばこ税として税収となる。製造たばこの製造者または卸売販売業者が、小売業者に売り渡した本数を小売業者の管轄する自治体に申告納付する仕組みなので、販売所とその本社との関係は分からないが基本的には地元で買ってはいい。(紙面と併せて回答)

問 ヘルシーランドに四千四百四万円、温華乃遥温泉に五千六百二十万円の指定管理委託料が計上されている。基本計画では、将来ヘルシーランドは温泉で、温華乃遥温泉は福祉施設にというのが今後の考えは。

答 源泉温度の高いヘルシーランドの方が温泉には有利である。本年度、温華乃遥温泉のあり方は岡原地区を中心として町民に広く意見を聞く年にしたい。

問 巡回相談支援委託料千二百二十二万円の内容は。

答 三名の体制で、子どもの成長過程において「気になる子ども」に対して保育の支援、或いはその保護者に対する支援をお願いする。上中球磨四か町村の共同事業である。

問 災害時要援護者避難支援システム現地調査の状況と、調査後の消防等との連携が必要になっと思うのだが。

答 二名の調査員で約八十%の調査が終わっている。まず、要援護者のデータを確立させた後、消防関係や民生委員との合同会議を開きたい。

9

建設経済常任委員会所管課分 (農林振興課・商工観光課・建設課・上下水道課)

問 大豆の振興に二百十万円を計上してある。目標の面積百haの確保のために三十ha増やしたいというが、この予算ではその効果に疑問があるのだが。

答 現在各農家の25年度の作付計画書を取りまとめているが、大豆の増反は難しい状況にあるので、面積維持等弾力的な運用も考えていきたい。

問 二〇一〇年から取り組んだ、あさぎり餃子のアンテナショップを含めての現況は。

答 アンテナショップでは町内業者の餃子を置いているので、競合は避けたという事からあさぎり餃子は置いていない。現況としてはふるさと振興社の物産館で製造販売している。



あさぎり町アンテナショップ

問 アンテナショップ事業は、今年人吉球磨市町村との連携に取り組むとの事だが、その進捗具合は。

答 現在、それぞれの市町村の商品を置いてみてはとの呼びかけをして町村の意思合わせをしているので、今年度はもっと連携を深めながら検討していきたい。

問 ポッポ館の自主事業委託料に二十二万円計上してあるが、町の中心部でもあるポッポ館の事業には予算を増額するべきではないか。



ポッポ館

答 町内には、ポッポ館の他に文化ホール・せきれい館もある。ポッポ館では現在、商工会を中心にビアガーデン・夜市他色々なイベントがあつていので、これ以上の自主事業は考えていない。

問 農地費・用排水路整備測量設計委託料百万円と工事請負費三百万円は、要望が上がって



改修が待たれる排水路

きた箇所の工事費だが、農地・水環境向上対策事業でやれる箇所との分別と、その優先順位は。

答 農地・水環境向上対策事業でやれる所はそちらを優先して頂く。これは町の一般財源だから、緊急的に対応しなければいけない所、または、農地・水環境向上対策事業からはずれている所を優先する。

問 椎茸種駒購入補助金は、椎茸生産組合員だけの補助金なのか。また、椎茸を特産品と考えるのであれば栽培はもろんだが、種駒を打たせるだけではなく販売に力を入れないと産業の活性化につながらないと思うが。

答 補助金の交付対象者は、椎茸の販売農家と考えている。山の幸興社を引き継いだ(株)山平は販売ルートも持っている。椎茸が足らなければ他の生産者の椎茸も販売していききたいという状況である。

総括質疑

問 二十五年度の予算編成の基本的な方針を示してほしい。

答 現時点で平成二十五年度地方財政計画の情報は把握できていないが、二十六年より五年間で、普通交付税の合併算定替えから一本算定との差額十八億円程度が減少するので、その事を常に念頭に置きながら財政運営を行う。また、第二次総合計画との整合性に十分留意し国・県・町、更には一部事務組合の果たすべき行政サービスの在り方、加えて住民協働として住民の役割を十分に認識して、予算編成に取り組んだ。(紙面と併せて回答)

問 営農支援センターの設立に向けた予算計上がなされていないが。

答 現在、どのような目的と計画ができるのか調査中である。今後、産業活性化協議会の幹事会で協議をして、具体的な目的と計画を明確にしながら年度内に補正予算で設立に関する予算計上をしたい。

問 球磨川マラソンの予算計上
がなされていない。十年と
いう歴史のある大会だから、補正
予算を組んでも残すべきではな
いか。

答 夏場の過酷なマラソンでマ
イナスイメージを心配して
いるから予算計上は見送った。須
恵地区の活性化はこれからも考え
ていく。

問 過酷なマラソンで良いでは
ないか。後ろ向きではなく
もっと前向きに考えてほしい。

問 販路拡大事業では、ふるさと
振興社の組織が根本的に
しっかりしていないとこの事業の
成功もないと思うが。

答 二十四年度は販路拡大とふ
るさと振興社の連携がうまく
取れてない部分があった。今後
取締役の構成を変更したりして、
担当課としても商工会にも協力の
お願いをしながらバックアップを
していく。

問 時限立法である中小企業金
融円滑化法が三月末で期限
切れとなる。中小企業の倒産や経

営者が窮地にたたされる可能性に
対し町としてのケアは。

答 現在、商工会等から町に対す
る問い合わせはあつていな
いが非常に危惧される状況にある。
納税の相談や精神的なケア等関係
各課の連携をとりながら対応する。

問 鳥獣被害防止対策の予算で
報償費664万円(捕獲し
た鳥獣の種類・頭数に対する予算)
が組まれているが、昨年度も減額
補正されたように、鳥獣の捕獲頭
数がなかなか増えない状況にある
ようだ。もっと猟銃等の免許を持
つ若い人を増やす努力をすべきだ
と思うが。

答 町内の捕獲・駆除隊は5隊
あるので有害鳥獣被害防止
対策協議会を通じて捕獲頭数が増
やすようをお願いしているが、捕
獲隊の構成メンバーも高齢化して
いるので、ワナ捕獲の資格を持つ
た人を増やすように講習会等を開
き努力をしているのが現状であ
る。今後は町村の枠を超えて若い
人に猟をやってみたいという意欲
を掻き立てるような方法を考えて
いきたい。

問 合併十周年事業費が
一千百三万円とあるが、こ
の事業の全体の流れはどうなるの
か。この事業には町民の意見も取
り入れてほしいと思うが、現在町
民の実行委員会等があるのか。

答 十周年式典とそれぞれのイ
ベントに冠を付けた記念事
業として取り組む。式典は庁舎内
検討委員会等で取り組むが、記念
事業はそれぞれのイベントの従来
の実行委員会で行い、組合は担
当課から出向していく。

あさぎり町合併10周年記念式典



あさぎり中学校吹奏楽部

平成24年度 一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出それぞれ**5億3,783万7千円**を追加し

歳入歳出予算の総額が**106億9,472万7千円**となりました。

主なもの(歳出)

※財政調整基金積立金	3億 179万9千円
※公共施設整備基金積立金	1億9,640万7千円
※農地費 工事請負費	4,200万円
設計委託料	1,000万円
※道路維持費・設計委託料	3,700万円
※中学校・工事請負費	7,380万円
(グラウンド整備)	

◎減額された予算もあります
ので、追加予算額と歳出の主
なもの合計金額は合致しま
せん。

条例の制定及び改正

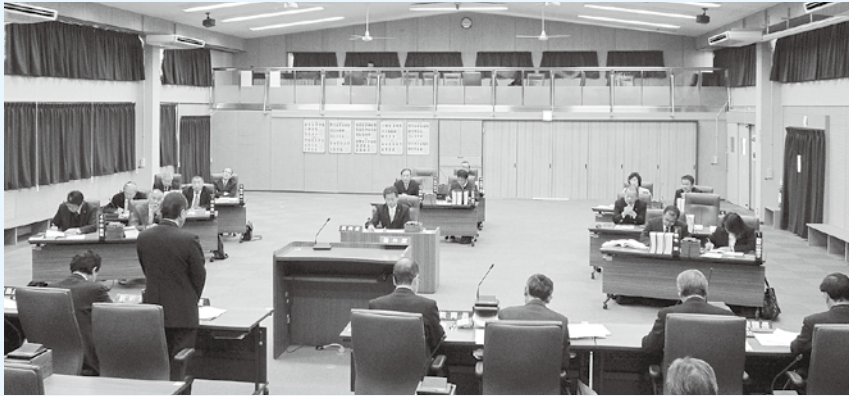
あさぎり町まちづくり審議会条例の制定

あさぎり町地域審議会とあさぎり町総合計画審議会を統合したあさぎり町まちづくり審議会を設置して、あさぎり町基本構想や基本計画の審議にあたるものです。

あさぎり町敬老祝金給付条例の制定

敬老祝金を給付することにより、長寿を祝福し、その福祉の増進を図るものです。

- 満八十歳 一万円
- 満九十歳 二万円
- 満百歳 十万円



あさぎり町消防団条例の一部を改正する条例の制定

機能別消防団員制度を導入して、すでに消防団を退団した方々から希望される方に一定の消防業務に限定して活動してもらうものです。

通年議会

地域における民主主義の発展と町民福祉の向上のために議会が果たすべき役割はますます大きくなります。

通年議会制度は

● いつでも議案の提出及び受理が可能となる

● 委員会の閉会中の継続審査（調査）手続きが不用になる

● 災害時や突発的行政課題に議会が主導的・機動的に活動できる

など導入は多くのメリットを有し、又、住民の期待も高まるものと思えます。

◆3月定例議会 議案表決一覧（抜粋）

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
24年度一般会計補正予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25年度一般会計予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◆平成25年度 第1回臨時議会

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
あさぎり町長等の給料の減額に関する条例の制定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度一般会計補正予算について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
球磨川マラソン大会に関する決議案		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

10 P 総合窓口化に向けた取り組みは
永井 英治 議員
県駅伝大会をあさぎり中学校で
皆越 てる子 議員

12 P 温華乃遥温泉等の今後の運営は
奥田 公人 議員
アンテナショップの事業効果は
小見田 和行 議員

11 P 町長就任以来の事業の検証とその問題点を問う
徳永 正道 議員
TPP交渉参加はどうか考えるか
豊永 喜一 議員

13 P 町の木造建築物に地元産材の現物支給は
橋本 誠 議員

問 財政難、今そこに迫った危機を どう乗り越えていくか

企画財政課長

基金を有効に活用すると同時に次期
行財政改革プランの策定を急ぐ



久保 尚人 議員

久保 今後訪れる財政難に備えて、基金を積み増しているといわれるが、町民に対して基金活用の丁寧な説明ができていないと思うが。

企画財政課長 今回、まちづくり基金を五億円、財政調整基金を一億円積み増し、総額五十五億円を積み、今後の財政調整に充てていくが、平成三十四年には十九億円ほどに目減りするので、次期行財政改革プランの策定に早

急に着手したい。

久保 合併十年後に交付税が減るのに、なぜ早く節約して基金化しておかなかったのか。

町長 財政調整基金は、借金ではなく節約した分の積立預金と考えていただきたい。まちづくり基金は、起債はするが七割は国が面倒を見てくれるので活用すべきである。当時の議論では、結論づけた。

久保 町と町民が共通認識を持って未来を真剣に考えよう。町の広報誌でも、分り易く財政報告をしていくことを約束していただきたい。

近隣の類似人口規模の自治体との比較

町名	人口	歳入	自主財源	
あさぎり	16,638人	123億4600万円	14億8900万円	2003年合併
山都	16,981人	135億2900万円	14億2300万円	2005年合併 蘇陽町 矢部町 清和村
長洲	16,594人	67億4500万円	25億7900万円	
御船	17,888人	72億0400万円	17億5700万円	
芦北	19,316人	113億8500万円	20億8300万円	2005年合併 芦北町 田浦町

H23年度決算状況調査より H22国調

問 町の活性化と地域振興につながる地域資源とは

総務課長

地域振興には人材育成も重要



加賀山 瑞津子 議員

んや日本で唯一幸福の名のつく「おかどめ幸福駅」など町の魅力につながる可能性はある。

総務課長 地域おこしに限らず地域振興については人材育成は非常に重要。時に若者、よそ者は地域おこしの起爆剤になるという話もある。

加賀山 メディアと連携し、今全国展開中のマンガ「夏目友人帳」めだかボックス」など活用し若者と共に地域をPRするのもひとつの方法では。



マンガ「夏目友人帳」とのコラボ

町長 やはり最後は人。人がどう動くか。基本的には、これからを担う若い人達を中心に目標を共有し、それに向かって動いていく環境作りが大切。

その他の質問

旧須恵村時代から続く歴史あるくま川マラソン大会は交流人口増加や地域活性化のためにも継続し開催する事が大切では。

加賀山 あさぎり町が他町村に自慢できる地域資源とは。その活用とPRについて。

町長 自然・農林産物・文化財等あるが薬師さ

財政難、今そこに迫った危機をどう乗り越えていくか
久保 尚人 議員

町の活性化と地域振興につながる地域資源とは
加賀山 瑞津子 議員

議会決議に対しての誠意がみられない
溝口 峰男 議員

重要性増す財政規律は
森岡 勉 議員

問 議会決議に対しての誠意がみられない

町長 しっかりと向き合い真摯に受けとめ行動していく



溝口 峰男 議員

溝口 議会は、山の幸開発事業（シイタケ栽培）に関する三項目の決議、谷水川浚渫工事に関する五項目の決議をしたが、その対応が遅い。議会の決議をどの様に受けとめ対応するのか。

町長 執行部と議会が不信任を持ちながら向き合う形は避けたい。真摯に受けとめ時間をかけず行動していく。

溝口 山の幸事業委託料一千万円の返還はどうするのか。

課長 夏園原木七千本の売却代金百万円を基金に戻し入れる。その他に旧上役場内施設使用料、合併記念公園の使用料をあてる。

町長 谷水川浚渫工事に関する責任は、今議会最終日に議会へ提案する。

溝口 農業委員の活動が適正に評価されていない。郡市でも活動状況からみて一番低い報酬を見直すべきではないか。

町長 適正な対応をしていきたい。



農業委員会耕作放棄地調査

副町長 尊敬に値する活動をしているので検討させていただきます。

問 重要性増す財政規律は

町長 財政規律に基づき自立運営
できる体制づくりに努める



森岡 勉 議員

森岡 平成二十四年度から取り組んだ第二次行財政改革の課題と、平成二十一年度に施行された、財政健全化法への対応は、合併十年目を迎えた今の現状、そして将来町民への福祉の充実とサービスの向上にどの様な影響を及ぼすのか、標準財政規模になった時の財政運営や、自主財政規律のあり方はどうなるのか。

町長 町の財政の長期的な安定化と自立を目指し努力する。

(単位：千円・%)

区 分	平成15年度	平成22年度	平成23年度
歳入総額	12,239,954	13,262,520	12,346,850
歳出総額	11,903,697	12,644,663	11,807,344
形式収支	336,257	617,857	539,506
実質収支	176,148	400,703	446,542
実質単年度収支	▲248,119	318,558	512,817
経常収支比率	89.7	78.9	81.3
実質公債費比率	—	15.2	14.4
将来負担比率	—	120.7	110.2
財政力指数	0.22	0.24	0.23
地方債の残高	14,114,534	13,279,117	13,241,544
積立金残高	1,427,797	3,626,845	4,801,131
標準財政規模	5,970,207	7,706,126	7,475,665

※資料は地方財政状況調査(決算統計)、健全化判断比率提出書によります
※積立金の残高は、積立基金のみで奨学基金などの定額運用基金は含みません
※平成15年度については、合併のため旧町村から引き継いだものも決算中に含まれています

副町長 交付税の一本算定化が五年後に訪れたあと、標準財政規模に近づけて、自主財政規律を遵守し、財政を有効に活用することが財政の原則であるので、年度毎又、中期、平成二十五年施政方針について

一、果樹振興対策について

一、果樹振興対策について

一、果樹振興対策について

問 総合窓口化に向けた取り組みは

企画財政課長

今年度は研修しながら進めて行く



永井 英治 議員

球磨川マラソンの
今後は
永井 球磨川マラソンは取りやめの方針であると本年度の予算計上がないが、今年度は合併十周年にふさわしいような大会にするべきではないのか。

町長 夏のマラソンは過酷であるし、旧須恵村の時代に比べ色々な環境も変化してきた。心苦しいが、今回十回という区切りで今年はこの年に代わるイベントを考える年になりたい。
永井 私は納得しない、やめるべきでない。

企画財政課長 平成

二十三年度二二三名の職員が二十五年度には二一八名になる予定である。職員数が減っていく事で住民サービスの低下につながる意味でも「総合窓口」を考えている。色々なやり方が考えられるが二十五年度は先進自治体を研修しながら進めて行く。



昨年の球磨川マラソン

問 県駅伝大会をあさぎり中学校で

教育長

地元誘致をどんどん働きかけていく



皆越 てる子 議員



昨年の郡市中体連駅伝大会

皆越 県の中学校駅伝大会が、平成十三・十四・十五年と球磨郡で、しかも上村中学校出発・ゴールで開催されたが、その後、天草郡市で開催され現在に至っている。あさぎり町も一つの中学校になりましたので、是非ここで、あさぎり町で実施して頂きたい。要望書、

意見書が教育委員会に提出されたかどうか経緯を伺いたい。
教育長 現在のところ二十七・二十八年までは天草でやるように決定している。中体連の評議員で決定するが、この中体連の駅伝大会は、非常に交流人口の拡大、経済効果というの大きい。天草の観光協会、宿泊施設の働きかけと、天草は学校数も多く体育の先生も非常に多い。そういう経緯により天草に決まった。二十八年度までは決まっているので、いろいろな機会を通じて、地元誘致をどんどん働きかけていく。

問 町長就任以来の事業の検証とその問題点を問う

町長 議会と信頼関係を構築しながら取り組んで参りたい



徳永 正道 議員

徳永 町長は平成十九年度四月施行の選挙で当選され、六月の定例会で施政方針をこう述べておられる。若い人達が残れる元気のよい町づくりを実現していく。町の元気を取り戻す為に仕事の場の確保、或いは、安定した収入の確保の取組みが必



透土工法現場(齊堂原58号線)

要だと。しかしながら遅々として進んでいないのが現状である。

町長 確かにやってきた事に問題があったのは事実。

担当職員も私達も一生懸命やっている。やりきっていなかった事、或いは計画段階で甘かった事等は反省

しながら改善していくが、是非総合的にどう動いているかという観点で見て頂きたい。

徳永 町長が色んな事業に積極的に取組まれている事は評価するが、企画立案の段階での検討が足りないのではないかと。事業に取組む上でやり方が拙速すぎる。予算というのは税金である。一円たりとも無駄にしない為に、あらゆる角度からの検討が必要である。

その他の質問

●透土工法の効果について

問 TPP交渉参加はどう考えるか

町長

TTP交渉参加は絶対反対



豊永 喜一 議員

豊永 TPP交渉参加すれば、地方が一番打撃を受けるが、町長の考えは。
町長 どういう形で殆ど示さないままに交渉に参加するのは絶対反対。
豊永 中国からの越境汚染(PM2.5)が懸念される中、町民の健康被害に対する不安があるが、対応策は(観測データ、注意喚起、情報提供等)。
保健環境課長 県から注意喚起の周知された場合には告知放送、保育所



TTP交渉参加断固反対

幼稚園学校等については、測定器が七十マイクログラム超えた場合には各施設に連絡。町のホームページから県のホームページにつながるっており情報提供している。

豊永 町長の施政方針の中で郡市一体での取組み対策として、くま川鉄道とバ

ス路線の赤字対策は。

町長 球磨人吉の公共交通をどうするかという協議会で、真剣に検討していく。

他の質問

●高校再編について

●アンテナショップの運営について

問 温華乃遥温泉等の今後の運営は

町長

本音は温泉施設を残してあげたい



奥田 公人 議員

奥田 町長は、先の全員協議会で「温華乃遥温泉を将来は社会福祉協議会の施設として利用したい」と発言されている。岡原地区住民や温泉施設を利用される方から、入浴施設はぜひ残してほしいという強い要望が上がっている。私も町の厳しい財政事情は十分わかってはいるつもりだが、町民のよりどころとなっている温華乃遥温泉をなくすわけにはいかない。温泉施設は生かしながら

社会福祉協議会の施設として併用できないか伺う。町長の本音での御意見を伺う。

し短い時間にする等の検討をさせていただきたい。そして、社会福祉協議会内のグループを持って行って活気を出し岡原の皆さんの元気を確保したい。

作って地域にある温泉だから、使っていたきたい。健康増進していただきたい。それが私の気持ちですが、二つの温泉の赤字が六千六百万円という金額になっている。私はまず考えてみるべきは温泉を沸かして入っていただく時間を少



温華乃遥温泉

問 アンテナショップの事業効果は

町長

収支はまだ厳しいが、あさぎり町の知名度は上がった



小見田 和行 議員

小見田 アンテナショップと六次産業化は並行してやるべきと思うが、町長の認識は。

町長 農商工連携等でこれまでやってきている。パスタとか色々な商品が立ち上がった。去年九月に設置した産業活性化協議会を充分機能させ販路拡大、商品開発も進めていく。

小見田 フードバレー構想、加工場建設計画もあるなか、アンテナショップも今後は球磨、人吉との連携を町長は表明されているが、今後の取り組みは。

町長 町村会等で議論しつつ県南との取り組みも模索したい。

旧深田・岡原中学校の利



あさぎり町アンテナショップ

活用策について。

小見田 旧須恵中学校は公営住宅、旧免田中学校は教育委員会事務局設置となった。残る旧深田、岡原中学校の利活用策を問う。

町長 旧深田中はJAの加工場に検討中と思うが、確定はしていない。旧岡原中は、作業療法士、理学療法士、看護師を養成する専門学校の誘致を目指し調査（抽出中）である。

問 町の木造建築物に地元産材の

現物支給は

農林振興課長

県の補助はあるが町として
現状考えていない

橋本 林業活性化、木の温もりある住宅環境整備のため木造建築物に対し、

地元産材の現物支給はできないか。

農林振興課長 現在県としては補助事業の募集は行っているが、町としては

具体的な事は進んでいない。

橋本 地元産材を取り巻く環境は厳しい状況だが、産材資源を有効活用すること、

林業者や製材所、工務店としての連携で雇用確保、又地域の活性化にも繋がる。

町としてもぜひ検討を願う。



橋本 誠 議員

フッ化物洗口の現状と課題について

橋本 現状と課題について伺う。

保健環境課長 幼児（保育所、保育園、幼稚園）の四歳児以上は行っ

ている。教育委員会と連携し平成二十五年度は小学校児童、平成

二十六年度は中学校生徒と実施に向けた。

橋本 むし歯を減らすことで、将来医療費

の削減に

つながる。

関係各課

連携して

迅速かつ

慎重にし

てもらい

たい。



地元産材の活用を（新月伐採）

3月21日
開催

平成25年第1回臨時議会

- あさぎり町 公共下水道使用料賦課漏れ、山の幸開発事業、谷水川浚渫工事等で町民の行政に対する信用を失墜させた責任として、町長の給料30%を3カ月、副町長の給料10%を3カ月減額。
- 一般会計補正予算（24年度）繰越明許費補正による旧須恵中学校跡地の造成・プール解体等の費用2000万円。
- 議員発議による球磨川マラソン大会継続に関する決議案。

上記3案が賛成多数により可決された。

総務文教常任委員会 視察研修報告

町づくり基本条例への取り組みについて

宮崎県北諸県郡三股町

去る二月七日、宮崎県の三股町役場に訪問をし町づくり基本条例を制定されている過程について研修を実施した。三股町議会議長、総務厚生委員長、地域政策室長、室長補佐のご同席を頂き三股町町づくり基本条例の策定経過の概要について詳しく話を聞かせて頂いた。これを参考にさせて貰いながら本町における町づくり基本条例の策定についてもしっかりと案を練り上げなければと委員一同実感した研修でした。

町議会基本条例及び議会活性化の取り組みについて

宮崎県西臼杵郡高千穂町

二月八日午後一時三十分より宮崎県西臼杵郡高千穂町役場を訪問し議長及び各常任委員長のご同席を頂き高千穂町の歓迎のご挨拶の後、高千穂町議会基本条例制定への取り組み経過についてつづさに聞かせて頂いた。目的として議会運営及び議員に係る基本事項を定め、議会及び議員の活動によるより美しい自然と神話を大切に産業、文化

の振興に努

め「かがや

く町づく

り」「住み

よい町づく

り」を継承

するととも

に、常に本

町の発展と

将来性を願

い、さらに

活力ある誇

れる郷土づ

くりを実現

することを目的とする。とあり、委員

一同我が町議会もしつかりとした議会

活動に取り組みなければと強く決意を

新たにした研修でした。



三股町での研修

厚生常任委員会 研修報告

平成二十五年二月十九日実施

①あさぎり町有機センター、生ゴミ堆

肥化事業について調査

あさぎり町有機センターは平成二十四年十月一日に(株)新和コンサルタントが指定管理者の指定を受けて取り組んでいる。生ゴミの堆肥化事業については平成二十四年十一月二十九日から免田本町、大正地区の生ゴミ収集を

開始し、十二月十三日から八幡町地区、十二月十四日から吉井住宅地区、十二月二十五日からは吉井地区の収集を開始している。生ゴミ収集日は月・火・金週二回のサイクルで祝祭日も稼働されている。戻し堆肥の中に、光合成細菌・バチルス菌が混入され無臭化に努められ丁寧な手作業による異物の混入除去されていることには感心させられた。事業に対して大変前向きで研究熱心な姿勢が見受けられ今後の取り組みに大きな期待を持った。



あさぎり町有機センター

②人吉球磨広域行政組合 人吉球磨ク

リーンプラザ研修

この施設は平成十四年十一月三十日に竣工し十年を経過している。人吉球磨クリーンプラザでは今後紙製容器包装を可燃ゴミから除き、リサイクルとして活用する事で可燃ゴミの減少につなげたいと望んでおられる。また廃プラスチックを資源ゴミとして今後利用を検討中であると伝えられた。



人吉球磨クリーンプラザ

③保健環境課所管事務調査

成人保健係 特定健診受診率の現状として平成二十四年度は五十八・二%で、年代別では四十〜五十歳代が低い。性別では男性が女性よりも低いとの事だった。目標受診率は六十五%に設定されている。病氣予防は健診受診率の向上が一番と思うので、受診率の向上に努めて頂きたい。○母子保健係 保育所・幼稚園のフッ化物洗口は、実施の方向に進んでいるが、小学校においては未定なので、慎重に検討されて実施に向けての努力に励んで頂きたい。○環境係 狂犬病予防注射は接種率九十%で未接種の犬の扱いについては、獣医師と職員が自宅訪問し、全犬接種に向けて取り組むべき。

一部事務組合及び常任委員会報告

川辺川総合土地改良事業組合議会

平成二十五年第一回川辺川総合土地改良事業組合定例議会は、二月二十日午前十時より組合会議室にて会期一日にて開催された。

組合長の諸般の報告において、今後の組合運営について、事業休止状態がつづいていることと、職員の退職等に伴い、事業継続が困難と判断し、今年度末をもって解散することとした。今後は、協議会方式に替えることとし事業については引き続き国に、国営事業として、事業継続を要望していく（新聞等にて報道）との報告があった。

続いて、平成二十四年度一般会計負担金総額の補正と・熊本県市町村総合事務組合の規約の一部変更についての二議案をいずれも原案通りに承認された。引き続き一般質問があり執行部に考えを質した。最後に、閉会中の継続審査及び調査について承認し閉会した。

上球磨消防組合議会報告

平成二十四年第二回臨時会が十二月二十七日開催され、同意第一号監査委員の選任について原案どおり同意決定された。

平成二十五年第一回定例会が二月二十六日に開催され、二十四年度一般会計補正予算、二十五年度当初予算について原案どおり可決された。一般質問は永井英治議員が西分署建設について質した。

1. 平成二十四年第二回臨時会

○同意第一号 上球磨消防組合監査委員の選任について、柳瀬博史氏に決定。

2. 平成二十五年第一回定例会

○二十四年度一般会計補正予算について

○二十五年度一般会計予算について

○一般質問（永井英治議員）

人吉球磨広域行政組合議会報告

平成二十四年第四回定例会が十二月

二十一日、平成二十五年第一回定例会が二月二十七日人吉球磨クリーンプラザにて開会された。第四回定例会は、平成二十四年度補正予算関連の三議案を質疑採決の結果原案どおり可決された。第一回定例会は、提出議案十一件を一括議題とし、条例の一部改正、規約の一部変更及び平成二十四年度補正予算関連について、質疑採決の結果原案どおり可決された。

球磨郡公立多良木病院企業団議会報告

第一回病院企業団議会定例会は、三月四日に開催された。今回は議長、副議長の選出を含み、病院本予算の他、特別会計予算等を慎重に審議した。病院、老健、検診事業では、利益的収入を四十四億一千八百四十三万三千円と見込んでいる。あさぎり町の負担金は、二千二百九十四万円になる。

建設経済常任委員会報告

○一月二十八日 午後一時三十分から東庁舎会議室にて、販路拡大事業について協議を行った。ふるさと振興社から六名、商工会八名、町五名を含め十八名が出席、アンテナショップの在

り方、ふるさと振興社の方向性等を協議したがふるさと振興社については、この一年で経営の在り方について結論をみいだすことにし、アンテナショップについては販路拡大事業メンバーと連繋をとりながら投資効果を高めていくことになった。

○二月十三日 午後一時三十分から議事堂第二研修室で商工観光課二十五年事業について協議を行った。

ふるさと振興社の組織の見直しを急ぐとともに、販路拡大事業に関係する売上、経費等には納得できる内容ではなかったため再検討を指示した。あさぎり駅前駐車場購入については、JA球磨がAコープ西側の民有地（四七〇坪）を購入する予定であることから、それを見極めたところで検討することとなった。

○二月二十八日 午前十時から議事堂第二研修室で上下水道課から下水道使用料賦課漏れについて、商工観光課から販路拡大事業について説明を受け協議を行った。下水道使用料賦課漏れ調査はすべての調査が終了していない状況であるので、公共マスのすべてについて調査を行い町民の信頼確保に全力をあげること。販路拡大事業については、委員会の意見を踏まえ改善されているが、さらに検討するよう要請した。



免田永才
ひさこ
豊永久子

人との出会いが成長の礎

私は小6・小4・5歳の元気のいい男の子の母親です。以前長男は消極的な性格でした。何か自信がもてるようなスポーツがないか探していたところ上村道場で剣道の練習があることを聞き見学に行きました。道場では小学校の低学年から中3までの子ども達が稽古中でした。大きな声を出しての気迫あふれる練習風景にとっても衝撃を受けました。練習が終わると子ども達が「こんにちは」「何年生?」「名前は?」と長男に声をかけてきてくれて、嬉しくなった息子はすぐにやる気になりました。今では次男と2人で練習に参加していて感謝する心や尊敬する心を学んだようで「ありがとう!!」と良く口にしてくれるようになりました。今子ども達の成長を感じ周りの方々に日々感謝しています。私の子ども達は、幸いな事に素晴らしい剣道の先生や仲間との出会いがあったのですが今の子ども達は色々と消極的な感じがします。昔は〇〇公園に行けば必ず誰か友達が遊んでいたのに今は約束をして行かないと誰もいない。やはり安心して遊べる公園が少なすぎると思います。出来れば各地区にそれぞれ公園が欲しいです。公園は子ども達だけではなく一緒に行った親同士の交流の場にもなると思います。どこの子供会も世帯数が減り寂しくなっています。今だからこそしっかり考えて取り組んで欲しいです。



須恵阿蘇
ゆうき
平野裕喜

更なる高みを目指して

先月、3月9日、あさぎり中学校第1回目の卒業式が行われました。あさぎり中学校の基礎を築かれた、171名の先輩方のご卒業されました。今度は僕たちが先輩方にかわってあさぎり中学校の先頭に立ち、さらなる発展に努めたいと思います。

開校1年目のあさぎり中は部活動がさかんで、たくさんの部が各大会で優秀な成績をおさめました。また、2学期に行われた人権集会では、全体の9割以上の生徒が「学校生活は楽しい」と答え、とても充実した1年だったと思います。

しかし、その一方で自転車の交通マナーなど、課題も多く見受けられました。

4月から新1年生を迎え、あさぎり中学校の2年目が始まります。僕たち3年生が先頭に立ち、下級生をしっかりリードしていきたいと思っています。また、生徒会長として、今年1年、皆が快適に過ごせるよう学校を支えたいと思います。更なる高みを目指して尽力します。

編集後記

早いもので平成二十五年も三分の一を過ぎ去ろうとしています。まさに「光陰矢の如し」であります。さて、議会は本年度より通年議会制度に移行致します。県下では御船町議会について二番目の取組みであります。議会本来の役割は、多様な民意を政治に反映することにあります。議員がしっかりと政策能力を高め、討論して行く事が「二元代表制」の生命線でありますので、通年議会は議会側にデメリットはなく、よって、議会が主導的かつ機動的に動くことが更に要求されていくと考えます。

町民の皆様の声が届くよう広報委員一同、広報活動にも頑張りたいと思いますので、本年度も何とぞよろしくお願い致します。

(森岡)

編集・発行責任者

議長 橋爪和彦

広報調査特別委員会

委員長 皆越てる子
副委員長 豊永喜一
委員 森岡英治
委員 久保尚人
委員 加賀山瑞津子